

**全国作況 101、来年 6 月末 190 万トン水準
在庫縮減、需給均衡へ**

本紙グループの(株)米穀データバンクは 7 日、7 月末現在でみた令和 5 年産主食用米等の収穫予測を発表した(概要は本紙既報)。全国の作柄は作況指数 101 の「平年並み」(10[㊦]収量 541[㊦])、予想収穫量は約 674 万[㊦]と推計している。農水省の基本指針に同予測を当てはめれば、来年 6 月末の民間在庫量は今年の 197 万[㊦]より 7 万[㊦]少ない約 190 万[㊦]となり、同社は「在庫はさらに縮減し、需給均衡水準が見込まれる」と分析している。

米穀データバンクの 7 月末収穫予想

同社の収穫予測は、7 月末までの気象データを独自の作況推計プログラムに投入して作況指数・収穫量を推計したもの。8 月 1 日以降、収穫期までの天候が平年並みに推移した場合の予測値だ。今後の天候によっては上振れ・下振れの余地があり、確定的なものではないことを付記している。平成 5 年産から毎年この時期に実施しており、今年で 31 年目となる。

①令和5年産水陸稲(主食用米等)の収穫予測

		5年産	前年差	前年比
合計	作付面積(ha)	1,246,000	▲ 5,000	99.6%
	収穫予想(t)	6,740,000	+ 38,000	100.6%
水稲	作付面積(ha)	1,246,000	▲ 5,000	99.6%
	10 [㊦] 収量(kg)	541	+ 5	100.9%
	収穫予想(t)	6,739,000	+ 38,000	100.6%
	作況指数	101	-	-
陸稲	作付面積(ha)	390	▲ 78	83.3%
	10 [㊦] 収量(kg)	229	+ 13	106.0%
	収穫予想(t)	890	▲ 120	88.1%

(注)米穀データバンク調べ。加工用米、新規需要米は除く。陸稲の作柄は平年並みとして試算。ラウンドのため計が合わない場合がある。作況指数の前年差・比は、農水省公表の農家等ふるい目幅の基準が異なるため表記せず。

7 月末現在でみた農業地域別の作柄は、▷「やや良」=北海道 104、東北 102▷「平年並み」=関東・北陸・東海・近畿・四国 101、中国 100▷「やや不良」=九州 98、沖縄 96——と予想。同社によれば、田植え以降、高温・多照などでおおむね天候に恵まれた地域がある一方、全国ベースで平年作にとどまったのは、6~7 月の日照不足などの影響で一部に生育の遅れや、大雨・台風などによる影響が見込まれるためだ。

都道府県別では、作況 102~105 の「やや良」が 14 都道県、99~101 の「平年並み」が 28 府県、95~98 の「やや不良」が 5 県となった。北日本では、全 7 道県のうち秋田を除く 6 道県が「やや良」。ただし北海道・宮城の 104 が最高指数で、「良」(106 以上)はなかった。また九州と沖縄では全 8 県中 5 県が「やや不良」で、不作見込みは九州以南に限られる形となった。

6~7 月の大雨で発生した浸水・冠水被害は、今回の予想には直接反映されていない。また今月以降も高温や台風発生などの天候不順が続いており、同社は「高温障害、病害虫発生、台風の動向などが収量・品質に与える影響には留意が必要」と特記している。

②米穀データバンクによる5年産水稻の収穫予想

単位：面積ha、予想収量10a当たりkg、収穫量t

	作付面積	予想 収量	作況 指数	予 想 収穫量	前年差
全 国	1,246,000	541	101	6,739,000	+ 38,000
北海道	82,500	583	104	481,300	▲ 6,300
青 森	33,900	621	103	210,500	+ 9,100
岩 手	43,200	556	103	240,300	+ 5,600
宮 城	57,000	563	104	320,700	+ 14,600
秋 田	69,500	571	99	397,000	+ 14,200
山 形	52,700	610	102	321,400	+ 8,400
福 島	52,700	568	103	299,100	+ 14,200
茨 城	58,500	532	101	311,400	+ 1,200
橋 本	46,700	551	102	257,200	+ 11,900
群 馬	12,400	503	101	62,400	+ 200
埼 玉	27,400	489	99	134,000	▲ 2,500
千 葉	45,500	549	101	250,000	+ 2,500
東 京	110	422	102	460	▲ 24
神奈川	2,850	499	101	14,200	▲ 200
新 潟	100,400	551	101	553,700	+ 10,200
富 山	31,200	558	102	174,100	+ 100
石 川	20,700	528	101	109,300	▲ 800
福 井	21,400	519	100	111,100	▲ 100
山 梨	4,670	542	99	25,300	+ 300
長 野	29,300	619	100	181,400	+ 200
岐 阜	19,700	490	101	96,500	▲ 900
静 岡	14,900	520	100	77,500	+ 1,100
愛 知	25,000	507	100	126,800	▲ 500
三 重	25,000	510	102	127,500	▲ 1,300
滋 賀	27,200	518	100	140,900	▲ 4,000
京 都	12,800	510	100	65,300	▲ 3,600
大 阪	4,460	495	100	22,100	▲ 700
兵 庫	32,400	506	101	163,900	▲ 4,400
奈 良	8,330	523	102	43,600	± 0
和歌山	6,000	507	102	30,400	▲ 600
鳥 取	11,900	514	100	61,200	▲ 500
島 根	15,900	516	101	82,100	▲ 1,500
岡 山	26,800	526	100	141,000	▲ 1,000
広 島	20,700	533	101	110,400	▲ 1,400
山 口	16,000	504	100	80,600	▲ 6,700
徳 島	9,500	479	101	45,500	▲ 800
香 川	10,800	506	102	54,600	▲ 600
愛 媛	12,900	508	102	65,500	▲ 2,600
高 知	10,500	456	100	47,900	▲ 900
福 岡	31,800	481	97	153,000	▲ 8,000
佐 賀	22,300	509	98	113,400	▲ 1,200
長 崎	9,800	475	98	46,600	▲ 2,300
熊 本	30,000	503	98	150,800	▲ 500
大 分	18,100	494	99	89,400	▲ 3,300
宮 崎	13,400	496	100	66,500	+ 1,100
鹿 児 島	16,400	485	100	79,500	+ 200
沖 縄	580	297	96	1,720	▲ 100

(注)面積はデータバンク推定。備前米、加工用米、新規需要米等含まず。10a予想収量はふるい目幅1.70mm基準で、作況指数は農水省が採用する農家使用ふるい目幅ベースと異なる。

主食用米等の作付面積は、需要に見合った生産の取組状況や各県などに対する聞き取りの結果を踏まえ、前年実績比 5000 畝減の 124 万 6000 畝（政府備蓄米・加工用米・新規需要米など非主食用の戦略作物は除外）と推計している。

農水省が基本指針で示した今年 6 月末の民間在庫量 197 万トに今回の収穫予測 674 万ト（前年比約 4 万ト増、基本指針比約 5 万ト増）を加え、年間需要見込みの 681 万ト（5 年 7 月／来年 6 月）を差し引くと、来年 6 月末の在庫量は約 190 万トとなる。一定の在庫縮減が進む半面、米価の値戻しがさらに進む可能性が高く、同社は「業務用向けなどでの使用（盛り付け減や他食材への切り替え）なども懸念され、消化進捗の確認が必要」と注意を促している。

なお農水省の作柄調査では、基準ふるい目幅を都道府県別（1.80～1.90 ミリ）に設定して作況指数を算出。同社の作況予測（1.70 ミリベース＝農水省の収穫量調査と同じ）とは基準が異なる。農水省による 8 月 15 日現在の調査では全国 46 都道府県の 5 段階作柄文字情報（「やや良」「平年並み」「やや不良」など）と早期米作況指数が今月下旬に公表されるが、全国作況指数は 10 月上旬公表の 9 月 25 日現在が最初となる。